

市内25か所で

蚊のモニタリング調査を開始します！



～横浜市におけるデング熱等蚊媒介感染症対策の強化～

昨夏、約70年ぶりにデング熱の国内感染患者が発生したことを受け、今年度は横浜市内での蚊の生息状況やウイルス保有状況等の調査を**拡充して**実施します。

観光客等の利用者が多い公園等での感染リスクを把握して、蚊媒介感染症への予防対策を強化することで、**市民の皆様の安全・安心を確保**していきます。

1 蚊のモニタリング調査概要

(1) 実施時期、実施回数、実施か所数

	平成27年度	(参考)平成26年度
実施時期	6月上旬～10月下旬	6月下旬～10月上旬
実施回数	月2回×5か月 10回	月2回×4か月 8回
実施か所数	25か所 (延べ250ポイント)	19か所 (延べ152ポイント)



【人囿法の様子】

(2) 実施場所・実施方法

実施場所	実施方法
山下公園 取材を受け付けます！	<ul style="list-style-type: none"> ●CDCライトトラップ法 →山下公園内1か所に午後から翌日午前中設置 ●<small>ひとひとり</small>人囿法^{※1} →山下公園内6か所で実施
公園、港湾地区等の24か所 ^{※2} (実施場所詳細は別紙1のとおり)	<ul style="list-style-type: none"> ●CDCライトトラップ法 →公園等内1か所に午後から翌日午前中設置

※1 人囿法：調査者が8分間立ち、捕虫網を足元で振って蚊を採取する方法

※2 26年度実施場所から6か所増やすとともに3か所変更（18区すべてで実施）

【山下公園での「蚊のモニタリング調査」の取材を希望される場合】

別紙2「取材申込書」により、6月12日(金)までにファックス(045-641-6074)でお申し込みください。

実施日時：平成27年6月17日(水)16:00～

実施方法：CDCライトトラップ法及び人囿法

(3) 蚊の生息状況の把握及びウイルス保有状況の検査の実施

回収した検体について、調査地点ごとに蚊の種類を同定して、種類別生息状況等を把握するとともに、蚊媒介感染症の原因となるフラビウイルス（デング、ウエストナイル、日本脳炎など）及びチクングニアウイルスの保有状況を確認します。

ヒトスジシマカの生息状況やデングウイルスの保有状況の結果については、1月ごとに集計して、本市ホームページ上で公表する予定です。

(4) これまでの経緯

横浜市では、平成23年度からデング熱を含む蚊媒介感染症に関して、市内19か所で定期的な蚊のモニタリング調査を実施しています。

これまでデングウイルス等の検出はありません。

2 蚊に刺されない・蚊を増やさない対策を！

蚊はデング熱、チクングニア熱、ウエストナイル熱、日本脳炎等さまざまな感染症を媒介します。蚊が媒介する感染症を防ぐために、普段から**蚊に刺されない・蚊を増やさない**対策を行いましょう。

別紙3 啓発ちらし「蚊に気を付けて！刺されない・増やさないために」参照

6月4日
ムシの日!!

虫の日イベント ～人に不快な虫・獣展～ にて 蚊媒介感染症についてのパネル展示を行います

公益社団法人神奈川県ペストコントロール協会が主催の「虫の日イベント」が、毎年6月4日「ムシ（虫）の日」に合わせて開催されます。今回の展示会では、本市から**蚊媒介感染症についてのパネルなどを展示**します。



CDCライトトラップの
実物も展示します！



昨年のイベント会場の様子

<虫の日イベント「人に不快な虫・獣展」>

開催日時：6月4日（木） 10：00～19：00
会 場：新都市プラザ（横浜駅東口そごう前広場）



【「蚊媒介感染症パネル展示（虫の日イベント）」の取材を希望される場合】

当日、直接会場までお越しください。

取材対応日時：平成27年6月4日（木）10：00～12：00

お問合せ先			
蚊に関すること	健康福祉局生活衛生課長	本間 豊	Tel 045-671-3608
蚊媒介感染症に関すること	健康福祉局健康安全課長	木村 博和	Tel 045-671-2442
調査・検査に関すること	衛生研究所微生物検査研究課長	笹尾 忠由	Tel 045-370-9612